

------(前回からの続き)-----

タイチ「コーヒーのお代わりいる？」
チアキ「あ、お願いしますっ」

かれこれ30分以上、粘っている二人組みのテーブルにコーヒーを入れにきたウェイトレスには目もくれずに、チアキは画面に向かって一生懸命にコマンドを打っている。

チアキ「"cd system"にエンターっと。あ、出た」

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:¥Documents and Settings¥Administrator>cd ¥windows
C:¥WINDOWS>cd system
C:¥WINDOWS¥system>
```

最後にプロンプトが"C:¥WINDOWS¥system>"とだけ表示されている。真っ黒なDOS画面をじっと見つめるチアキ。タイチはウェイトレスが注いでいったコーヒーを楽しみながら、ゆっくりとチアキの反応を待った。

チアキ「ああ！そうかあ！自分の今いる位置からのディレクトリ指定なんです
すね！SYSTEMディレクトリがWINDOWSディレクトリの下にあるから」
タイチ「さすがにわかったかな。要はこういうことなんだよね」

タイチがメモを書こうとすると、チアキがパッとカバンから例のノートを取り出した。いつの間にか"DOSの勉強"と手書きしてある。

プロンプト	説明
C:¥WINDOWS¥SYSTEM>	C:はCドライブ ¥(ルートディレクトリ)の下の WINDOWSディレクトリの下 SYSTEMディレクトリに現在移動している >はコマンド入力待ち状態

タイチ「この図を見て考えると、はじめにWINDOWSディレクトリに移動してしまっているんだから、その下にあるSYSTEMディレクトリに移動するには、そのまま"cd system"でいいんだよね」

チアキ「すると、DOSを起動してすぐにSYSTEMディレクトリに移動する場合はどうするんですか？」

タイチ「今いるプロンプトはどうなっている？」

チアキ「"C:¥WINDOWS¥system>"ですけど...」

タイチ「...」

チアキ「あ、そうかあ、"cd c:¥windows¥system"ですね？」

タイチ「そうそう。打ってごらん」

チアキはわざわざexitコマンドを打って、一度DOSを終了させてから、改めてDOSを起動した。

チアキ「スタート、プログラム、アクセサリ、コマンドプロンプトと」

チアキ「そのあと、"cd c:¥windows¥system"にエンターっ！」

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
C:¥Documents and Settings¥Administrator>cd c:¥windows¥system
C:¥WINDOWS¥system>
```

チアキ「プロンプトもちゃんと移動できているし...うまくいきました！」

タイチ「よかったね」

チアキ「はい！よかったです」

説明し甲斐があるものだなあ。素直に喜ぶチアキを見て、タイチは純粹にそう思った。

タイチ「本当はc:はなくてもいいんだけどね。それって、Cドライブってことだから、ドライブを移動するつもりがないのならC:とかは必要ないんだ」

チアキ「すると、Dドライブに移動するときは必要なんですか」

自分の使っているパソコンにドライブがCとDの二つあって、Dドライブにウェブ用のデータファイルを保存しているチアキは、興味があって聞いてみた。

タイチ「そうなるね。ただ、今はわかりやすくするために、Cドライブだけで考えておこうよ」

チアキ「はい...」

うーん。今度自分でやってみようっと。わからなかったら聞けばいいしね。

タイチ「ところで、今、チアキちゃんがDOSで操作したことって、Windowsでは、どうすることに等しいのかな？」

チアキ「えっ！Windowsですか？えーっと、WINDOWSディレクトリなんて見ることないし...」

タイチ「つまりさ、これは、WindowsでCドライブを開き、WINDOWSフォルダを開き、その中のSYSTEMフォルダを開いた状態に等しいんだよね」

チアキ「うーん。ちょっと待ってください...」

タイチが書いてくれたメモに目をやりながら、チアキは今までのパソコンの動きを冷静に考え直してみた。そして、タイチがDOSのディレクトリ移動は、Windowsでは単にフォルダを選んでダブルクリックすることと同じだと言ったことの意味がようやくわかった。

チアキ「面白いですね…。DOSって…。WindowsとDOS操作の対比は確かにそうなりますね」

チアキがじっくりと一つ一つ思い起こして、理解しながら話しているのがタイチにもわかった。

タイチ「つまるところ、Windowsってマウスを使ってフォルダを選んだり、ダブルクリックしたりしてフォルダの中を見るよね。それって、カレントディレクトリを移動して、ファイルを表示しているに過ぎないんだよ」

チアキはタイチの話聞いて、素直にただうなづいている。

タイチ「開いたばかりのフォルダのタイトルバーって青くなっているだろ。それがカレントディレクトリ。そして、フォルダを開くとファイルがアイコンで表示されるよね。それが、DIRコマンドと同じなんだ」

チアキ「なるほどお。DOSって面白いっ！DOSの操作とWindowsの操作がそんなふうに関連しているなんて！今までWindowsでマウスを使っていたけどそんな世界があるなんて、まったく考えてもいなかった！」

タイチ「まあ、そういうディレクトリ移動とかを、考えなくても済むように考えられたのが、Macintoshのファインダーって仕組みだし、その画面構成や考え方にそっくりなのがWindowsなんだよね」

チアキはタイチが前から物知りだとは思っていたし、面白い角度から話をすることもミーティングでわかっていたが、今回はタイチの知識の幅と理解に改めて感服しきりだった。多分、複雑で難しいことなんだろうけど、言葉を選んで簡単に説明してくれていることはよくわかる。

タイチ「最後に相対パスについて説明しておくね」

チアキ「はい」

タイチ「今いるカレントディレクトリから一つ上のディレクトリに移動するときはどうするかなんだけど…」

チアキ「"cd %windows"ですよね。この場合、C:は要らないと」

タイチ「残念！75点。C:が要らないのは正解で50点。"cd %windows"でも一応、目的のディレクトリには移動できるので25点で、合計75点かな」

チアキ「ぶーっ。じゃあ、100点ってどんなのですか？」

また、擬音だ。意外とふくれやすいのかなチアキちゃんて…。タイチは答えられそうもない質問をして悪かったかなと反省しながら続けた。

タイチ「悪い悪い。知らないことを質問するのは反則だよ。えっと、DOSでは、一つ上のディレクトリは".."で表すんだ。だから、この場合、答えは"cd .."になるんだ」

チアキ「それって…。いえ、そのお。それって、ウェブサイトでいうファイルの相対パスと絶対パスのことですか？」

タイチ「あれ、知ってるの？パスのこと」

チアキ「そりゃ、ウェブサイト作るのに知らないのはおかしいですから」

タイチ「それなら話は早いね。それと同じだよ。DOSでも"C:¥WINDOWS"のことをパスっていうんだよ。特にC:ドライブのルートからのパスは絶対パスっていうし、".."なんてのは相対パスを前提にしているよね」

チアキは自分が日夜取り組んでいる仕事とタイチの説明が交差したことに妙な嬉しさを感じた。パソコンを使う以上、やっぱり何か関係ってあるんだわ。

チアキ「実際に打ってみていいですか？そのコマンド」

タイチ「そうだね。先にexitでDOSを終了させて、windowsの下のsystemディレクトリに移動してからやってみてね」

チアキ「はい」

しばらく、カチャカチャとキーを叩いていたチアキは最後に言った。

チアキ「..."cd ¥windows¥system"と打って、次に"cd .."っと」

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
```

```
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
```

```
C:¥Documents and Settings¥Administrator>cd ¥windows¥system
```

```
C:¥WINDOWS¥system>cd ..
```

```
C:¥WINDOWS>
```

チアキ「なるなる。windowsディレクトリに移動している…」

タイチ「そのまま、また上に移動してごらん」

チアキ「"cd .."ね。エンターっと」

チアキ「プロンプトが"C:¥>"って表示されましたけど…」

タイチ「それがルートディレクトだよ。また、同じコマンドを打ってみて」

チアキ「また？じゃあ、"cd .."。えっと、プロンプトは"C:¥>"で同じです」

タイチ「ルートディレクトリだからね。ルートは「根」だからそれ以上の上はないんだ。えっと、メモはあるかな…」

ハイ！って感じで、チアキはノートの所定のページを開いて差し出した。タイチの知識がノートに書き込まれていくのがチアキには楽しかった。

```
C:¥ <-- ルートディレクトリ
|
+-- WINDOWS <-- WINDOWSディレクトリ
|
+-- SYSTEM 一つ上のディレクトリに移動するなら「cd ..」
          一気にルートディレクトリに移動するなら「cd ¥」
```

チアキ「ありがとうございます。とってもわかりやすいです。なるほど、一気にルートディレクトリに移動する方法もあるんですね！」

タイチ「cdコマンドにもたくさんの使い方があるけど、今日説明した使い方で80%は事足りると思うよ。おおっと！やばい」

チアキ「ええっ！あっ、時間！」

タイチ「チアキちゃん、悪い！レジ済ませておいて、後から払うからさ！」

返事を待つ間もなく、ノートパソコンをパタンとたたんだ。ちょっとくたびれた背広と使い込んだバッグを脇に抱えながら、急いで出て行くタイチ。

チアキ「先輩。列車、間に合うのかな...」

*

レジを済ませたチアキは駅に向かった。もうすっかり日が傾いていて、前を歩く人の影が長い。駅について、人ごみの中で列車を待ちながらチアキは考えていた。

そうなのね！今いる駅がカレントだとすると自分が下車する4つ先の駅は相対的に捉えられるんだわ。でもどこかの重要な拠点から数えるとそれは絶対的になる。例えば、東京駅からとかね...。前に待っている人は私の1つ前で相対的。後ろの人は1つ後ろで相対的。でも電車の乗降口から数えると自分は前から5番目で絶対的なんだ！

いつも見慣れた風景をこんな視点で見たことなかった。今まで何度も駅で電車を待ったけど、何だか違う角度で見れたことがとてもうれしい。自然に笑みがこぼれる自分が可笑しいかなとも思ったけど、言葉に表せない何かが心を動かしていることは確かだった。

喫茶店は私がおごっておこうと。

WINDOWSディレクトリやSYSTEMディレクトリはWindowsの動作に必要なファイルがたくさん入っていますので、ここで示したコマンド以外は入力しないで下さい。Windowsが起動しなくなる恐れがあります。

----- (つづく) -----

Copyright(C) 2005 rpn hacks! All rights reserved